インジウムスズ合金

安全データシート

1 製品およびサプライヤーの識別

製品名:	インジウムスズ合金 - 片、ショット、シート、箔、ワイヤー、ターゲット
式:	インジウム-スズ
サプライヤー:	スタンフォード先端材料 23661 バーチャー博士 レイクフォレスト、CA 92630 USA
電話:	+1 (949) 407-8904
ファックス:	+1 (949) 812-6690
メール:	sales@samaterials.com
緊急:	+1 (949) 407-8904
推奨用途:	科学研究

2 危険の特定

GHS分類 (29 CFR 1910.1200): 危険物として分類されていない

GHSラベル要素:

シグナルワード: 該当なし

危険有害性情報: 該当なし

注意事項: 該当なし

3 組成/成分情報

材料:	CAS番号:	%:	EC#:
インジウム	7440-74-6	40~90	231-180-0
錫	7440-31-5	10~60歳	231-141-8

4 応急処置

一般的な対策: 通常の取り扱いと使用では、この物質の固体形態への暴露は健康被害はほとんどありません。その後の研削、溶解、溶接などの作業により、吸入したり、皮膚や目と接触する可能性のある有害な粉塵や煙。

吸入 新鮮な空気のある場所に移し、暖かく静かにして、呼吸が困難な場合は酸素を投与してください。医師の診察を受ける。**摂取:** 水で口をすすぐ。吐かせないでください。医師の診察を受けてください。注意。意識のない人に決して吐かせたり、口から何かを与えたりしないでください。

肌汚染 された衣服を脱ぎ、患部を石鹸と水で洗ってください。医師の診察を受けてください。注意。汚染された衣類は再使用する前に洗ってください。

目: ぬるま湯で、上まぶたと下まぶたの裏を含め、少なくとも15分間目を洗い流してください。数分以内に医師の診察を受けてください。

最も重要な症状/影響、急性および遅発性: 刺激を引き起こす可能性があります。詳細は11項を参照してください。詳細情報。

直ちに医師の診察と特別な治療を必要とする場合: その他の情報なし
利用可能。

5 消火対策

消火剤: 周囲の材質や火災の種類に応じて適切な消火剤を使用してください。

不適切な消火剤: 情報はありません。

物質に起因する特定の危険性: この製品は火災や爆発を引き起こすことはありません
輸送時の危険性。加工時に発生する微細な粉塵が蓄積し、高温にさらされると発火する恐れがあります。
発火源となる可能性があります。火災時には酸化インジウムの煙が発生する場合があります。

消防士のための特別な保護具と注意事項: フルフェイス、自己完結型
必要に応じて呼吸装置と完全な保護服を着用してください。

6 偶発的な漏出に対する措置

個人予防措置、保護具、緊急手順: 適切な服装を

8項に規定された呼吸保護具を着用してください。粉塵や煙の吸入を避けてください。漏洩物を隔離してください。
エリアを換気して換気してください。

封じ込めと浄化のための方法と材料: 溶融金属は

清掃前に冷やして固めてください。大きな破片の場合は機械で拾い上げてください。破片や埃の場合は掃除機で吸い取ってください。
HEPAフィルターを使用して、適切にラベルを貼った密閉容器に入れてください。粉塵の発生を避けてください。
圧縮空気。

環境に関する注意事項: 排水溝に流入したり、環境に放出したりしないでください。

7 取り扱いと保管

安全な取り扱いのための注意事項: 換気の良い場所で取り扱ってください。粉塵の発生を避けてください。

高温にさらさないでください。粉塵や煙を吸い込まないでください。皮膚や目に入らないようにしてください。
食事や喫煙の前には必ず医師の診察を受けてください。個人用保護具に関する情報はセクション8をご覧ください。

安全な保管条件（不適合性を含む）：密閉容器に入れて保管してください。

涼しく乾燥した場所に保管してください。酸化剤、酸、硫黄と一緒に保管しないでください。詳細は10項を参照してください。

不適合材料に関する情報。

8 暴露管理と個人保護

暴露限界： OSHA/PEL： ACGIH/TLV：

インジウム 0.1 mg/m₃ 0.1 mg/m₃

錫 2 mg/m₃ 2 mg/m₃

適切なエンジニアリングコントロール：可能な限り、局所排気装置またはその他の換気装置の使用

工学的制御は、空気中の粉塵や煙への曝露を制御するための好ましい方法である。

定められた職業暴露限度を満たす。適切な清掃と衛生習慣を実践する。

作業場では喫煙や飲食をしないでください。食事や喫煙の前には、よく手を洗ってください。ほこりを吹き飛ばさないでください。

圧縮空気で衣服や皮膚を保護する。インジウムの粉塵や煙にさらされる場所で着用する衣服

職場内での使用に限定し、定期的に洗濯する必要があります。

個人用保護具などの個人保護対策：

呼吸器保護：潜在的な曝露が職業上の限度を超える場合、承認された

人工呼吸器を使用する必要があります。

目の保護：安全メガネ

皮膚保護必要に応じて不浸透性の手袋、保護作業服を着用してください。

9 物理的および化学的性質

外観：

形状： 様々な形態の固体

色： シルバーグレーメタリック

臭い： 無臭

臭気閾値： 未定

pH： 該当なし

融点： データなし

沸点： データなし

引火点： 該当なし

蒸発率： 該当なし

可燃性： データなし

可燃上限： データなし

可燃下限値： データなし

蒸気圧： データなし

蒸気密度： 該当なし

相対密度（比重）： データなし

Hへの溶解度₂₀： 不溶性

分配係数（n-オクタノール/水）：未定

自己発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
粘度：	該当なし

10 安定性と反応性

反応性: データなし

化学的安定性: 推奨される保管条件下では安定しています。

危険な反応の可能性: データなし

避けるべき条件: 微粒子や粉塵の発生や蓄積を避けてください。高温を避けてください。

不適合な材料: 強力な酸化剤、酸、ハロゲン。

危険な分解生成物: 金属酸化物ヒューム。

11 毒性情報

可能性のある曝露経路: 吸入、皮膚、目。出荷時の製品には、

吸入の危険性がありますが、その後の作業で吸入される可能性のある粉塵や煙が発生する可能性があります。

曝露による症状: 刺激を引き起こす可能性があります。

急性および慢性の影響：

インジウム：インジウム元素の毒性に関する決定的な情報はほとんどありません。インジウムへの曝露

固体の金属は、粉塵や煙が発生しない限り、健康への悪影響はほとんどないと予想される。

実験動物において、インジウムスズ酸化物は、

吸入。インジウムの可溶性塩は静脈内投与すると非常に有毒である。

スズ：スズは毒性が低いと考えられています。スズに汚染された食品を摂取すると、

吐き気、嘔吐、下痢、発熱、頭痛などの一時的な胃腸障害を引き起こします。

スズを粉塵または煙として吸入すると、曝露された労働者に良性的塵肺症を引き起こす可能性があります。

急性毒性: データなし

発がん性年:NTP: 発がん性があるとは特定されていない国際がん研究機関 (IARC) : 発がん性があるとは特定されていない

我々の知る限り、この物質の化学的、物理的、毒物学的特性は

完全には分かっていません。

12 生態学的情報

生態毒性: データなし

持続性と分解性: データなし

生体蓄積性: データなし

土壤中の移動性: データなし

その他の副作用: 物質を環境に放出しないでください。これ以上の関連事項はありません。

情報は入手可能です。

13 廃棄に関する考慮事項

廃棄物処理方法：

製品: 連邦、州、地方自治体の規制に従って廃棄してください。

パッケージ: 連邦、州、地方自治体の規制に従って廃棄してください。

14 交通情報

配送規則: 規制なし

国連番号： 該当なし

国連正式輸送品名： 該当なし

輸送危険物クラス： 該当なし

梱包グループ： 該当なし

海洋汚染物質： いいえ

15 規制情報

TSCAリスト: すべてのコンポーネントがリストされます。

規則 (EC) 第1272/2008号 (CLP) : 該当なし

カナダWHMIS分類 (CPR、SOR/88-66) : 該当なし

HMIS 格付け：健康: 0 可燃性: 0 物理的な: 0

NFPA 定格：健康: 1 可燃性: 0 反応性: 0

化学物質安全性評価: 化学物質の安全性評価は実施されていません。

16 その他の情報

この文書に含まれる情報は、作成時点における当社の知識に基づいています。

出版物であり、正しいと信じられていますが、すべてを網羅するものではなく、

あくまでもガイドとしてご利用ください。